

2016年10月20日

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
広報・啓発専門委員会

2016年プラスチックなどの容器包装 より良いリサイクルと3R 『第13回市民・自治体・事業者の意見交換会 in とよなか』報告

豊中市 環境部 環境事業長 勝井隆文氏



開催概要：プラスチックなどの容器包装より良いリサイクルと3Rにむけて、第13回「市民・自治体・事業者の意見交換会 in とよなか」を開催しました。

とよなか消費者協会の市民の皆様・豊中市を中心に、クリーンランド、近隣3市、2省、メーカーご担当者ら計48名の参加がありました。

減量推進課 課長 吉村光章氏



豊中市 吉村課長からは、「プラスチック製容器包装リサイクルの現状と課題」ということで、容器包装プラスチック分別に転換した取り組み・効果と今後の対応について発表がありました。

とよなか消費者協会 会長 谷口佳以子氏

とよなか消費者協会 谷口会長からは、団体の紹介、これまでの41年間の3R活動の発表と経過の報告がありました。



事業者からは、プラスチック容器包装の性質、材質、機能について、またリサイクルの概要、PETボトルについて概要説明をしました。

プラ推進協議会 専務理事 久保直紀

また、グループごとの分科会では、分別排出・収集に関する問題、店頭回収、リサイクル、環境に配慮した容器包装、環境教育や活動について、広い観点で活発な意見が交わされました。



日 時：2016年9月16日
開催場所：生活情報センター くらしかん3階
参加者：市民関係者 14名
自治体/行政関係者 14名
事業者 19名 計 47名
主催者：プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
協力：PETボトル協議会



プログラム :

時間	内容
13:00~13:05	挨拶：豊中市 環境部 環境事業長 勝井 隆文 氏
13:05~13:25	自治体の取組報告 —豊中市におけるプラスチック製容器包装 リサイクルの現状と課題— 豊中市 環境部 減量推進課長 吉村光章 氏
13:25~14:45	市民の取組報告 —くらしの安全と健康を守って41年— 3R (REDUCE/REUSE/RECYCLE) の取組 とよなか消費者協会 会長 谷口佳以子 氏
14:45~14:05	事業者の取組報告 —プラ容器包装・ペットボトル 3Rと環境配慮設計— プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保 直紀
14:05~14:20	***** 休憩・移動 *****
14:20~16:20	分科会 3グループごとに話し合い プラスチックなどの容器包装のリサイクルについて、日頃疑問に思うことや、問題点と感ずること、 要望など事前にいただいたご質問も含めて、自由テーマで話し合い。
16:25~17:00	グループまとめ報告
17:00	閉会挨拶

『リサイクル・3R・容器包装の環境配慮設計』に関して
テーマを特に設けず、フリートーカーキングで、意見交換

略語：市民＝民、自治体＝自、省庁＝国

事業者＝事、ファシリテーター＝ F

進め方

1. はじめに自己紹介する。
2. 当日前半の市民・自治体・事業者の取り組み報告や、容り法等に関する意見、日頃からの疑問、提案、指摘事項などを、ポストイットに各自記載し、テーマごとに論点を整理し、論点ごとに適切な人が回答し、意見交換を行った。

第1グループ

参加者 : 計 16 名
市民 : 6 名
自治体・国 : 5 名
事業者 : 5 名



1. はじめに

F: 質問にあった内容について、ペットボトルのリングはリサイクル時に水中で比重により分離するので、外す必要は無い。

プラスチック容器包装には問題が多く、各地区で分別方法が違う。今後どのようにしたら良
いか、全国レベルで考えて欲しい。

2. 法に関すること

F：料理酒の容器のペットボトルにプラマークがついていることの質問について

国：法的には中身により識別マーク区分の規定があり、料理酒はボトルが昔は緑色であり、ペットボトル飲料から区別されていた。昨年改定をして、H29年4月から料理酒もペットボトルの区分に変更することになる。ノンオイルドレッシングなどのボトルは既に、H20年にペットボトルの区分になっている。

民：着色ワインボトルや紙ラベルが貼られているものは回収できないのか。

F：ワインは飲料酒。飲料酒用・調味料酒用は、ペットボトルの区分で良い。紙ラベルが取れない場合でも、再商品化過程で除去して、リサイクルできる。

3. 環境配慮設計について

民：シャンプー・リンスのキャップの色を変えて欲しい。

事：ユニバーサルデザインで色を変えたり、ボトルに凹凸のメモリを付けたりして工夫しているメーカーもある。お客様相談室ですぐに対応する。

民：ペットボトルのキャップの材質は何か。PEのキャップのみ集めてワクチンにしている所があり、材質が記載してあれば良いのだが。

事：ペットボトルのキャップの材質はPE（ポリエチレン）とPP（ポリプロピレン）が多い。同じ硬さのPET（ポリエチレンテレフタレート）では勘合せず、必ず隙間ができて中身が漏れてしまう。

集まる量が少なく、宅急便代を払うならその分ワクチンを買った方が良いのではないかと。キャップ協会でも賛同していない。プラスチックは産業廃棄物扱いの許可が必要で、もっぱら物とは違い、廃掃法上疑問である。

民：詰め替え容器では、移し替えやすい容器にして欲しい。

4. 3R（リデュース・リユース・リサイクル）について

民：ペットボトルにお茶を作っていたら、リユースというか。

事：衛生面、環境負荷の観点から、ガラスびんのみがリユースできる対象になる。

リユースをすると環境負荷が増え、100km未満の圏内でないと回収できない。農薬などもプラ容器には付着混入するが、ガラスは洗えば入り込まない。

家庭で自己責任でリユースを行うのは構わないと思うが、事業者としては安全衛生の担保上広域ではできない。匂いも抜けない。

ガラスびんでビールメーカーは希塩酸等を使って洗浄していると聞くが、基準値以下にコントロールする必要がある。何が混入しているか分からない物に対して計測しようがない。安全性の観点でもリユースして使い回すことはできない。

民：小さいペットボトルはリサイクルに回っているのか。

事：ペットの識別マークがついているものは、リサイクルに回っている。

民：ペットボトルのリサイクル品についてはどのようになっているのか

事：ペットボトルの国内向けのリサイクル材は年間27万トン再生されていると推定しているが、その中で協議会が確認できているのは22万5千トンであり、卵パック、スポーツウエアやユニホーム等になっている。（2015年報告書を参考）

民：ペットボトルのリサイクル品にマークを付けて欲しい。

自：ペットボトルのリサイクル品を役所ではユニホームで使っている。(当日着用)

事：一部は中国に渡っている。ペット樹脂と繊維のポリエステル樹脂の化学組成は同じ。ペットの再生マークは付いているものもあるが、シューズ・絨毯・自動車用カーペットにはリサイクルマークが付いていないのでよくわからないと思う。廃棄ペットボトルは有価で回っており、再生品は値段が高い。指定法人から自治体に戻されたお金は、税金の補填として、大部分が一般会計に入っている。

民：リサイクル品の購入に関し、国からの援助が有れば良い。

自：豊中市は、ペットボトルの持ち去りがないように条例が出来ている。

事：ペットボトルはまだリデュースできる余地があるが、薄くすると、凹みや、キャップを開けたときに中身が噴き出すなど、水以外の中身を入れて、どこまで消費者に受け入れてもらえるかが問題。水で慣れてもらい、お茶や他のものに波及している状況。

事：ペットボトルは、BtoB（ボトルからボトルへ）にする場合、エネルギーがかかるが、資源価値の観点からは良いものとして行っている。

民：ペットボトルに入ったビールも海外では販売しているが、ビンとペットはどちらが良いか。

事：ビンはほぼ100%リユースでき、使用エネルギーは少ない。一方で、新ビンで160万トンを作っており、エネルギーを使う。ペットは60万トン位で、比較すれば、製造エネルギーが少ない。

過去Aビールは販売したことがあったが、その当時消費者の非難が有り、ペットボトルのビールの販売を辞めた。しかし、現在リサイクル体制が進んだ状況では、非難は起こらないと思うので、将来ありえるかもしれない。

5. 分別排出について

民：啓発シールを貼られたごみは、その後どうなるのか。

自：一定期間置いた後、間違いに気づいてもらい、最終的には回収する。誤った分別排出が続いた場合は、チラシを配布する。そうしたことで、他の人の目にも留まる。

F：疑問・意見から、食費プラ容器包装はどこまで洗った良いか。特に詰め替え容器は、どの程度洗ったら良いか。

自：水や洗剤を使うぐらいだったら、可燃ごみへ。手間をかける必要は無い。

民：ハイターのボトルはプラ容器包装に出しても大丈夫か。

自：使い切って入れれば出してよい。

民：シャンプーの容器は、水をかなり使わないと綺麗にならない。また詰め替えた後のパウチはどのようにしたらよいか。

民：リサイクラーに行った時、どのような処理がされるのか。

事：ケミカルリサイクルでは汚れは関係無い。新日鉄住金（豊中市の今年度の再商品化事業者）（高炉化学原料化）では、分解するので大丈夫。市の焼却炉の設備によっては問題がある。

事：今回配布するDVDの“よくわかる分別排出のポイント”に、シャンプーボトルなどの洗い方のポイントが掲載されている。ポテトチップスの袋は洗わないが、逆さにして落ちなければ良い。チューブであれば、最後まで絞り出した程度で良い。

汚れはリサイクル工場に行くまでの衛生面と、食品残さの塩素分が、材料リサイクルのペレット(再商品化製品)で悪さを起こす。

事：汚れの程度で、輸送段階の衛生面で困るものは可燃に出せば良いと、大きく括って考えたらどうか。

自：常識的な範囲で考え、無理して分別排出することはない。

民：いろいろ伺い、分別に自信が出てきたように思う。

自：自治体毎に分別排出のルールが違うのは、焼却施設の能力に因る。

民：以前当市では、プラスチック容器包装を焼却していたので、楽だった。

事：東京都は処分場の延命は後 50 年程、出てくるものを灰にして更に灰も再利用すれば 100 年くらいもつことになる。焼却／エネルギー回収することをもう少し見直した方が良い。

事：収集した油などのついたプラスチック容器包装の約半分は材料リサイクルに回り、その半分は熱回収している。

自：当市は、電気にして売電している。新炉になり、焼却灰が 30%から 15%に減った。他町ではダイオキシンが出てしまい、倉庫に閉まっている。

民：在宅医療廃棄物を減らすにはどうすれば良いか。

自：容器に入れて医療機関に返すことになっているが、インシュリン注射などの使用が多い。二重袋に入っていると判らず困る。

民：町田市ではおむつだけ入れる袋を可燃で出すことができる。当市でも無料で袋又はケースを配れば、防ぐことができるのではないか。

民：医療機関で配り、回収した方が良い。

事：DVDにも掲載しているので、活用して広めて欲しい。

6. プラマークについて

民：プラマークの付いていない容器がある。マークが小さい。

事：大きく付けるよう広報しているが、栄養成分、アレルギー表示など法的な文字を入れるので対応が難しい。

表示漏れは法律違反。但し容器包装の対象外のもの（中身が商品でないクリーニング袋・カタログを入れたダイレクトメールの封筒、非売品や景品を入れたもの等）には表示がされないことになっている。表示漏れで気が付いた時には、事業者に問い合わせを欲しい。

民：証券会社のお土産袋にはマークが付いていない。

民：ペットのマークとリサイクルマークの両方が付いているのが判りにくい。

7. 情報公開・啓発

F：どれだけきれいにして出せば良いかということや、分別排出についての情報提供について、例えば納豆容器で、納豆菌は水を浄化する。水に浸しておけばきれいにとれることなど知られていない。

民：スーパーの店頭では、牛乳パック・トレイの回収をしているが、トレイを最近持っていく人が少なくなった。自治体回収されたものは、選別センターでトレイを分けているのか。

自：プラスチック製容器包装で出されたものは、3Rセンターで選別しているが、分別適合物で禁忌品を取り除くのが精一杯。トレイを分けているわけではない。

F：国民への啓発が不十分で、大多数の方がリサイクルのゆくえを知らない。どうすれば良いか。

民：小学4年生の環境教育があり、小学生の方がかえて良く知っている。

民：小学生で数時間勉強しても分別するかどうかわからない。中・高でも少しでも教育した方が

良い。

民：スーパーの無地袋に商品の中身を入れて、トレイをそこに捨てていく人が増えている。どうにかならないのか。

自：小学生は関心が高いが、大学の寮の分別状況は悪い。

自：当市でも同様に、焼却施設やパッカー車を小学生に見学させている。

民：プラ・紙の混合の出し方が良く分からない。

自：プラ・紙の混合で、紙が多かったら紙に出す。

民：裏面を見ずに捨てる人がいるが、豊中市のカレンダーの分別表はわかり易い。

自：当市もカレンダーで出している。裏面には分別方法を記載している。

第2グループ

参加者 : 計 16名
市民 : 5名
自治体・国 : 4名
事業者 : 7名



1. 行政へ質問

回収の際に困る事

自：『禁忌品』『汚れ付着品』の防止について

包丁・はさみ等、注射器などの危険異物、分別されない品、汚れ付着品など入る事が困る。
二重袋等にすると判別しにくい、回収時に重量で概ね把握する。

事：自治体は回収拒否できるが、スーパーでは店頭回収をすると分別など非常に大変な作業なので継続した啓蒙活動を行うしかない。

自：啓蒙活動を行うが一度固定したルールが変わった場合、どのようにして再通達するか問題、本件は教育の一環とも通じる。

民：容器包装なのか？パッケージなのか？判断がつかない。

民：プラマークの識別がしにくい。

2. 汚れ付着の問題

事：新日鉄住金方式だと汚れ付着問題はリサイクルに問題はないが衛生面での問題が大きい。

自：洗浄はどのあたりまで必要か、水洗いで濯ぐ程度で良い。

事：水洗浄であれば湯洗浄より環境負荷は低い。

3. 店頭回収の流れ

事：阪急オアシスではPETボトル・PSPトレイ等リサイクルはエフピコに委託している。

4. 容器の使用削減

事：スーパー側も可能な限り容器使用は控えるが衛生面を担保するため、容器は必要。

事：容器メーカーも重量削減にも務めている。

事：産地製造もあり、合理性の上使用している面もある。

5. 白色・カラートレイの分別

民：白色・カラートレイの分別の必要はあるのか。

事：白色とカラートレイの分別の必要は特にないが、分別した方が良いリサイクル品が出来る。

6. ポリエチレン袋とトレイ処理

事：ポリエチレン袋の回収作業を行っても、費用対効果などで利点が見えない。トレイとの比較は難しい。

7. PETボトルの薄肉化

民：PETボトルは薄肉化できないか？

事：製造時・搬送時・使用時の飲料内容により厚さが異なる為、現在の状態に合理性がある。

8. PETボトルのリユース

事：ワンウェイとリユースの比較検証を行った場合、拠点から100km以内、回収量などの諸条件が整わない限り環境適合に沿わない。

9. マイバッグ運動推進

事：スーパー側もレジ袋辞退者に対するのプレミアム提供など行い削減運動推進している。

事：コンビニでは削減は困難。

事：ドラッグでは非食品系の観点から東南アジア製造品などの低品質レジ袋などで環境負荷・経費削減など行っている。

10. リサイクルの問題点

国：物量とリサイクルに関しての参加自治体の賛同、消費者の方の分別意識・啓蒙の向上が必要。

11. 排出抑制の取り組み

国：食品ロスとの関係性を含めると抑制は可能か？ 高齢化社会など鑑みると、個食対応で必要最低限の適量だと、容器使用重量の削減も可能か。

12. 容器包装の区別

国：商品か否かがキーワードだが、年齢男女問わず判別しやすくするために『プラマーク』が存在するが、今後は現状の問題点を洗い出して改善していく必要はある。

13. リサイクルとは

事：限りある資源保護プログラムの一環、ヨーロッパに見るリサイクル環境はここ10年で大きな進歩をしている。事業高3兆円規模のドイツ業者が日本進出しており、諸外国では住民啓発活動に問題があり、機械化が進んだ背景がある。

第3グループ

参加者： 計 15名
市民： 3名
自治体・関係者： 5名
事業者： 7名



1. プラスチック容器包装の分別排出・ごみの出し方

F：分別収集、ごみの出した方について、実際の状況について。

自：二重袋で出されると問題が多い。二重袋になっていると、収集時に、ごみ袋の中が見えず、異物や危険物が入っていても気が付かないので、そのまま収集車で中間処理施設まで持って行ってしまふ。中間処理施設で手選別している時に、危険物に気が付き、選別されることが多い。
豊中市は、指定ゴミ袋で収集しているので、外から見える範囲内で違う物の中にあるのが分かる。持った時にプラ容器だけの時より明らかに重ければ違う物が入っていることに気が付く。二重袋にされると、軽い危険物がそのまま中間処理施設にいつて行ってしまい、そこで選別時に異物・危険物が出てくるという状況。手選別をする際にケガをする恐れがあるので出す際に注意して欲しい。

事：指定袋は有料か。

自：この指定袋は、市民が小売店で購入してもらうもの。値段的には高くないと思う。

事：指定袋以外は受け付けないのか。

自：指定袋以外は受け付けていない。指定袋の収入は小売りに入り、自治体には入らない。自治体は袋の基準（おおきさ、強度）を指定して、業者が作っている。

民：100戸以上のマンションでは、ロータリードラムにいつでも出せるようになっていて、指定ごみ袋でなくても出せる。製品プラも可燃ごみとして出している。

自：ただし、それは可燃ごみだけで、プラスチック容器包装は指定袋に入れて出すことにしている。

F：ロータリードラムのものは可燃物で、焼却炉の方にいくとのことだが、指定ごみ袋で集められた容リプラはどこでペールにするのか。

自：市の中間処理施設で行っている。

民：包丁やライターなどの危険物は、回収しに来た人に直接渡すようにとされている。

自：包丁などは、不燃ごみの日に出すように広報している。

市民の協力を仰ぐため、分別冊子以外にも、スマホで分別アプリが見られるようにして、ごみの収集日を案内している。

自：分別アプリでは、今日は不燃日、明日は可燃日・・・と掲示され、朝7時 夕方6時など都合の良い時間に見られるように設定できる。

自：枚方市でもアプリの導入をしたいが、経費の問題がある。

F：いつごろからやっているのか。

自：今年の4月から開始している。豊中市でのアプリのダウンロードは4000になった。

伊丹市ではまだ1200とのこと。18万世帯を考えるとまだ少ないと思っている。

自：市によって収集日が異なっているので、同じアプリを全市で使うのは難しい。

F：スマホは皆さん見ているのか。

- 自：ごみカレンダーに収集日は書いてあるが、若い人は見ない。若い人はスマホなら見ているので、有効ではないだろうか。
- F：豊中市の広報冊子はすごくよくできていると思うが、市民の方は皆さん持っているのか。
- 自：全戸に配布している。転居してきた方には転居時に配布。
- 自：プラスチック製品は可燃ごみに、プラスチック容器包装でも汚れているものは可燃ごみに出す。
- 民：残飯が残っている物や混じっている物は可燃ごみ。牛乳パックでも洗ってない物は油虫が付いていたりする。こういう物は可燃ごみでいいのでは。
- F：二重袋や医療廃棄物についてはどういう状況か。
- 自：二重袋はなかなか無くならない。
- 民：生ごみの場合、大きな袋に一度にごみをいれるのはむずかしい。プラ容器包装は二重袋には入れていない。
- 自：異物混入について、4市でリサイクルプラザをつくって選別している。豊中はA評価*となったが前年はD評価、異物が多かった。原因は色々考えられが、解明できていない。（*指定法人が行う分別基準適合物の品質判定）
- シャンプーボトルのポンプ部は一般ごみにしていることや、マヨネーズの残り滓をどこまで取るのかということが分かりづらいのかもしれない。
- 事：ポンプ部がリサイクルで出せない理由は何か。
- 自：明確ではない。ずっとそうしている。当時スプリングが入っていたので分けることとした、と聞いたことがある。今は、すべてプラスチックなのか。
- F：全部のポンプがオールプラスチックではない。金具のものもある。ほとんどのリサイクラーの意見では、今では技術が良くなっており、分けて出しても問題はない。
- ポンプを一般ごみに出すという自治体も少ない。
- 事：マヨネーズ・ケチャップの中身が残り、なかなかキレイにならないことについて、マヨネーズ、ケチャップの残った容器の中に、胡椒や酢を入れて、軽く振って、料理に使う。そうすれば、洗わずそのまま出してもリサイクルに差支えない。
- プラスチック容器包装リサイクル推進協のHPにリサイクルの知恵としてこの方法を掲載しているので、参考にして欲しい。
- F：医療用の針の収集は、どのような状況か。
- 自：医療用の針は、まとまって出てくる。鉄であれば選別できるが、ステンレスなので磁力でとれない。手選別するしかないので、職員がケガをする。在宅医療により、一般家庭から出されている。
- 自：豊中市では8月の医師会の会議で、在宅医療の危険物は、適性に病院や医者に戻せるよう、呼びかけてもらっている。

2. PETボトルの回収について

- F：PETボトルの回収状況について。
- 自：拠点回収では、拠点を270ヶ所設けて行っている。行政収集は4週間に1回ステーション回収を実施している。
- F：PETボトルの拠点回収は市で実施しているか。
- 自：回収は市が行っている。拠点回収のメリットは、市民がいつでも出せること。拠点回収ではキレイなものが出て来る。
- F：拠点回収の費用はどうなっているのか。店に市の拠点を置いた場合には、市がお金を払っている

のか。

自：店舗は、袋替えや、増員などの協力をしているが、市は、店舗に支援金などは出していない。

市：マンションでは、拠点回収を週一回行っている。

自：PETボトルの回収量は拠点よりも行政収集の方が多い。店まで持っていくのは面倒なためではないか。

民：買い物のついでにPETボトルを持って行っている。そういうメリットが店頭回収にはある。

自：PETボトルは拠点回収だけであったが、行政収集を行うようになった。行政収集を追加した理由は、可燃物の量を減らさないと焼却炉がパンクしてしまうため、可燃物に回ってしまうPETボトルを資源として回収することにある。

民：事業者資料には、PETのラベルをできるだけ剥がして出すことと書いてあるが、我々は必ず剥がしている。できるだけいいのか。

F：PETボトルの回収実態は市町村収集が半分、自販機、コンビニが半分である。市町村回収ではラベル、キャップが外され、きれいに出されているが、自販機のそばのごみ入れ回収箱にはラベル・キャップを分けて出せるようになっていない。またスーパー等の店頭ではPETボトルの自動回収機があって、ラベルを剥がさないと受け付けなくなっている。

行政収集で回収されたものは、質の良いものが出ているので、引き続き行って欲しい。

3. プラスチック容器包装のリサイクルについて

F：マテリアルリサイクルとケミカルリサイクルがあるが、豊中市はケミカルへ出しているのか。

自：市でどちらのリサイクルに出すかは、現行の容リシステムでは決められない。どちらのリサイクラーが落札したのかは容リ協(指定法人) *で確認できるが、リサイクルの行き先を追いかけてない。それよりもA判定になるのかどうか気がなる。*(公益財団法人日本容器包装リサイクル協会)

自：PETボトルの判定は良かったが、プラ容器包装はD判定で、合理化拠出金が支給されなかった。

4,800トンを手選別で行っているが、Dとなり原因を検討中である。

プラ容器包装を焼却、熱利用に回したらいいのではという意見が出てくる。しかし、プラを燃やすと熱量が上がリ、廃ガスNOxの問題、熱量が上がることによる焼却炉のダメージの問題が出てくる。

F：燃やす事には無理があるのか。

自：いろいろ問題がある。熱量のコントロールをしないとイケない。熱量が上がるのを防ぐために水を入れることもある。8割位の熱量にしないと焼却炉にダメージを与える。

事：生ごみの助燃剤として、生ごみと一緒に燃やすのであれば熱量は上がらないのでは。

自：生ごみとブレンドして燃やすわけではない。プラスチックリッチな部分があり、熱量が上がる時がある。

F：熱量コントロールのためには一定のバランスが必要であり、そのためにプラスチックの適切な分別収集が必要とのことですね。

事：プラスチック容器包装のリサイクルには、材料リサイクルとケミカルリサイクルの手法がある。

ケミカルリサイクルは、残渣が15%と効率的でいろいろなものが出来る方法。

材料リサイクルは、ケミカルリサイクルに比べ、残渣が50%排出され、リサイクル費用が高いことがあげられる。一般的には材料リサイクルが資源の有効利用に適していると考えられているが、材料リサイクルはリサイクル費用や技術的な課題もあるので、材料リサイクルとケミカルリサイクルをバランス良く行うことが必要と思っている。

4. リユースについて

F：リユースについて事業者から意見が出ている。

事：容器のリユースが減ってきている。洗びん機メーカーも減少しているし、給食の牛乳もびんから紙パックに替わっている。リユースよりワンウェイの方が、いろいろ使い勝手がいいということなのか。

民：牛乳びんの配達については、マンションがオートロック方式になっており、個人に配達できないのも影響していると思える。

F：豊中市で市民が取り組んでいるリユースは何か？

市：一か月に1回程度バザーを実施している。主に衣料、瀬戸物がバザーに出されている。あまり売れないので、無料で譲るような場合もある。

ファシリテーターまとめ

1. 分別排出・ごみの出し方について

① 分別排出について

- ・二重袋での排出は、危険なものが混入しても分からないので、自治体から止めて欲しいとの意見。
- ・若い方の情報提供、啓発については、スマホに分別アプリをスタートさせている。まだダウンロード数は少ないが、若い方がごみの出し方の情報を入手しやすく有効である。

②ごみの出し方について

- ・シャンプー・リンスのポンプ、マヨネーズ・ケチャップ、医療廃棄物の出し方について問題が提起された。リサイクル事業者からの情報やいままでの意見交換会ででた中身をきれいにして出す市民のアイデアを紹介し情報の共有化をはかった。

2. PETボトルの回収について

- ・PETボトルの回収方法として、行政収集、拠点回収、店頭回収があり、市民がいつでも出せることから豊中市では拠点回収が盛んで質のいいものがでてくる。

3. プラのリサイクルについて

- ・市長村では、分別収集したものがA判定をとることを目指しているが苦労があるとの意見。
- ・仮にプラを焼却するにしても、現行焼却炉では技術的な問題があるので、プラスチック容器包装の分別収集をしっかりとやりながら、バランスのとれたところで焼却を行っていく。
- ・ケミカルリサイクルと材料リサイクルについて、事業者から情報提供した。

以上

